

報告日 令和7年11月4日
報告回次 3回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	日野町役場			代表者名	町長 塩田淳一
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	企画政策課	連絡先電話番号	0859-72-0332
担当者役職	副主幹	担当者氏名	伊田達彦	連絡先E-mail	
住所	689-4503 鳥取県日野町根雨101番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署			
担当者氏名	連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的な課題への支援	事業名	日野町社会福祉型テレワーク事業		
概要	長野県立科町や塩尻市などが実施している「社会福祉型テレワーク事業」の導入を検討している。事業実施に向けた具体的な支援をアドバイザーに求めたい。				
支援を求める分野	テレワーク				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	66	令和7年10月31日	支援・助言	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年11月10日	支援・助言（実地）	9時00分	17時00分	60
				活動時間（分）	420
2-2. 派遣場所	会場名	日野町役場		最寄駅	JR根雨駅
	所在地	鳥取県日野郡日野町根雨101		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	上前 知洋
評価	大変良い
上記評価の理由 (どのようなところがよかったです等詳細に)	当初、第2回支援で検討した施設整備、ディレクターの雇用、研修等の内容については、9月補正予算に向けた対応を進めたものの、予算が採決に至らず事業実施には至らなかった。そのため、講師の助言により、今後の方向性を一から見直し、現状に即した取組として以下の3点を整理することができた。 ①事業の位置づけの再整理…既存の協議会の活用も含め、今後の方向性を協議する場を設ける。 ②計画（戦略）への反映…再整理した取組内容を町の計画や戦略へ明確に位置づける。 ③取組主体の検討…町の主体的な取組とするか、住民支援としての取組とするかを検討する。
アドバイザーへの要望事項	9月議会で予算が不成立となったことにより、これまでの計画は一度リセットされる形となった。 今後は、講師に整理していただいた方向性（事業の位置づけの再整理、計画への反映、主体区分の検討）をもとに、新たに取組を進めていく必要がある。しかし、ゼロからの再スタートとなるため、取組を進める過程で検討が行き詰まる場面や、方向性の判断に迷う局面も想定される。 その際には、これまでの経過を理解いただいている講師から、引き続き具体的かつ実践的な助言をいただけるとありがたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】			合計人数	9人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	3	6		

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	本事業については、第2回支援で検討・整理した内容をもとに、9月補正予算での対応を進めながら、議会において十分な理解を得ることができず、予算が採決に至らなかった。その背景として、事業の目的や効果、実施体制等に関する議会側との認識共有が十分でなかったことが考えられる。特に、事業の位置づけや町の負担、継続性に関して具体的な説明や合意形成の場を十分に設けられなかった点が課題として挙げられる。この結果、当初予定していた施設整備やディレクターの雇用、研修などの実施が見送られることとなり、事業を一から見直す必要が生じた。 今後は、事業の方向性を再整理するとともに、議会や関係者との情報共有と理解促進に一層努めていくことが重要な課題である。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	アドバイザーの助言により整理した3点（①事業の位置づけの再整理、②計画（戦略）への反映、③町の主体的取組とするか住民支援の取組とするかの検討）を着実に進めながら、事業の必要性や効果について議会および関係者の理解を得ることを目指す。これにより、次年度以降の予算化および事業実施につなげ、地域の課題解決に向けた具体的な取組を推進していくことを成果としたい。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	講師には、本町の現状やこれまでの取組状況について丁寧に聞き取りを行っていただくとともに、午後には町とともに住民へのヒアリングにも同席いただいた。これらの内容を踏まえ、今後の方向性を次の3点に整理していただいた。 ①事業の位置づけの再整理（既存協議会の活用を含め、協議の場を設ける） ②計画（戦略）への反映（再整理した内容を町の計画に書き込む） ③取組主体の検討（町の主体的取組とするか、住民支援の取組とするかの整理）
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	議会での否決を受け、今後どのような形で取組を進めていくべきか整理がつかない状況であったが、アドバイザーの支援により課題の背景や方向性を整理していただいたことで、今後の進め方を具体的に描けるようになった。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ①事業に係る計画書等を策定できた 今後の実施事業の計画等
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	支援により課題と今後の方向性を整理することはできたが、今年度のアドバイザー派遣（全3回）が終了したため、これから整理内容を実行に移す段階で課題が生じた際の対応に不安が残る。 可能であれば、次年度に再度アドバイザーの支援を受け、実施段階における具体的な取組や課題解決に向けた助言をいただきたい。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は講演・セミナーの実施なし
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい ⑤その他 ①事業の位置づけの再整理（既存協議会の活用を含め、協議の場を設ける） ②計画（戦略）への反映（再整理した内容を町の計画に書き込む） ③取組主体の検討（町の主体的取組とするか、住民支援の取組とするかの整理）
4-4. 事業の最終的な目指す姿	本事業の最終的な目指す姿は、町内において誰もが空いた時間に働けるテレワーク環境を整備し、働く場を求めて町外へ転出する人口流出を抑制することである。子育て中や介護中など、さまざまな事情を抱える住民が町内で柔軟に働ける環境を整えることで、暮らしと仕事の両立を支える地域づくりを目指す。

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 揭載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

